

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)1月10日  
会 長：松波 恒彦  
幹 事：平野 好道  
クラブ委員長：犬飼 達郎  
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
T E L：052-211-3803  
F A X：052-211-2623  
M A I L：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

奉仕を通じて  
**平和を**

田中作次

2012-13年度

国際ロータリー会長

## 第1598回例会

2013年5月16日(木) 晴 第42回 なごやか例会

～出席奨励月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

## 幹事報告

平野好道幹事

- ・5月16日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて「新、中堅会員提出質問」回答作成会議を行います。
- ・次週5月23日(木)卓話終了後臨時クラブフォーラム(ガバナー活動資金について)を開催します。
- ・次週5月23日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第3回長期ビジョン委員会を行います。

司 会：渡辺喜代彦会場委員  
ゲ ス ト：佐治寛行さん  
田中 宏さん

## 会長挨拶

松波恒彦会長

昨日、一昨日から歴史認識や慰安婦問題など色んな問題が出ており、色んな意見もごさいます。RCで政治の問題はあまり語ってはいけませんが、歴史認識についてなら良いだろうと思ひ、前から興味を持って色々調べていたのですが、調べれば調べるほど不快な事ばかりです。どの様な意味で不快なのかという件については、皆様のご想像にお任せします。私は日本国民でございますので、日本の立場にたつて考えたいと思っております。



東洋系民族というのは、昔から仏教等の影響なのか慈悲深く過去の事は忘れるという民族ですが、中国、韓国、北朝鮮という国はそうではない様に思ひます。

RCに入会して、もちろん楽しい事はいっぱいありますが、嫌な事もいっぱいありましたので、常に私は嫌な事は忘れようとしています。つまり、皆様もRCの活動においても嫌なことは忘れて未来をみて頂きたいと思ひます。

ご静聴ありがとうございました。

## ニコボックス

鶴田浩ニコボックス委員

- ・去る5月14日(火)、32年9ヶ月務めてきました社長業を無事息子に譲ることができました。なにかほっとした気持ちです。名古屋瑞穂RCの会員の皆様はじめ関係各位の皆様にご感謝申し上げます。本当に有難うございました。 **近藤 雄亮さん**
- ・自分の誕生日を失念していました。 **高村 博三さん**
- ・5月4日は?回目の結婚記念日でした。ゴールデンウィークですっかり忘れていました。本日所用により早退します。

稲葉 徹さん

- ・今日は入会予定の佐治さん、田中さんのお二人が見学にいらっしゃっています。皆様どうぞ宜しくお願いします。 **松波 恒彦さん**
- ・ゲストに田中さんをお迎えして。 **本多 清治さん**
- ・本日は田中宏さんをゲストとしてお迎えします。

堀 慎治さん

- ・本日はゲストに佐治寛行さんをむかえて、よろしくお願ひします。

鈴木 淑久さん

## 出席報告

鶴田浩出席委員

会員63名 出席37名 (出席計算人数48名)

出席率 69.8%

5月 9日は補填により 98.2%

## 例会風景





持続可能なプロジェクトを行う2つのクラブ

二人のロータリアン、ウォルト・シャーファーさん(米国、チコ・ロータリー・クラブ)とサディキエル・キマロさん(タンザニア、モシ・ロータリー・クラブ)は、5年間に及ぶプロジェクトでの協力を通じて、持続可能性の大切さを学びました。

「協力相手と連絡を取ることが重要」と話すシャーファーさんは、プロジェクト実施地の住民であるキマロさんと、Eメールや電話で頻りに連絡を取り合ってきました。二人が所属するクラブは、2008年以来、植樹、学校への給水システムの提供、虫下しの配布、経済発展プロジェクトなど、多くのプロジェクトを協力して実施し、その影響は、キマロさんの地元だけでなく、周辺の農村にも及んでいます。

今回、両クラブは、ビデオ、「10 Key Points for a Successful International Rotary Project」(国際的なロータリー・プロジェクトを成功させる10のポイント)を作成しました。ビデオでは、クラブ会員からの幅広い参加、クラブ間の強力なパートナーシップ、地域住民の参加、地域リソースの活用など、10のヒントが紹介されています。

クラブ間の協力は、チコ・クラブがアフリカで安全な水を提供することを目標にし、シャーファーさんが非営利組織のAfricareに連絡したことがきっかけとなりました。キリマンジャロ地域の人々がきれいな水を必要としていることを知ったシャーファーさんは、地元のモシ・クラブで当時のクラブ会長だったキマロさんに電話をし、プロジェクトのアイデアを伝えました。その後、両クラブの賛成を得て、協力関係が成立しました。

両クラブの協力による活動は、水と衛生に的を絞った活動から始まり、その後、同様のプロジェクトを周辺地域でも実施しながら、プロジェクトの裾野を広げていきました。

ロータリーの6つの重点分野にも注目し、真に重要なニーズを把握するために、地域住民との話し合いも行いました。「何が必要とされるか住民に尋ね、優先すべき事柄から離れないように気をつけた」とシャーファーさん。結果的に、5つの重点分野に関連する活動を実施しました。「それぞれ独立したプロジェクトに聞こえるかもしれませんが、いずれも同じ地域で、同じクラブが実施したものです」。

プロジェクト資金は、財団のマッチング・グラントとクラブの資金によって賄われました。また、その後、両クラブが所属する地区が、ロータリー財団の未来の夢計画(新しい補助金モデル)の試験地区となったため、グローバル補助金も利用しました(新しい補助金モデルは、2013年7月より全地区に導入されます)。

両クラブは、グローバル補助金のためのオンライン申請プロセスを、いち早く使用しました。当初は複雑だった申請手続きも、現在はオンラインで簡単に申請できるようになったとシャーファーさんは話します。

また、グローバル補助金では、より多くのクラブや地区が協力できるようになるため、それだけ利用できるリソースが増え、ニーズのある地域社会で大きな影響を与える持続可能なプロジェクトが実施できると、キマロさんは付け加えます。

両クラブは現在、新たなプロジェクトを実施するため、3回目となるグローバル補助金の申請を行っています。これが承認された場合、これまでにタンザニア北部で実施されたすべてのプロジェクトを含め、活動資金の総額は529,000米ドルとなります。今回のグローバル補助金では、地域全体の水システムの改善、医療クリニックの開設、図書館への太陽光システムの設置、コンピューター室の設置のほか、農家を対象に効率的な販売方法の研修を行うことが目標です。

「大きな影響を生むことができるから、何年間もこの活動を続けてきた」とシャーファーさん。「多くのプロジェクトが実施され、さまざま

な団体が活動するのを見てきましたが、いつも活動後のフォローアップが不十分でした。私たちは持続可能性を重視し、模範的なプロジェクトを示すために、この活動を続けてきたんです」。

ロータリー平和フェローシップの推進を

エチオピア外務省に勤務していた外交官、ジョデヌ・ハイレさんは、オスロの平和研究所でロータリーの平和センタープログラムについて知り、2002年にロータリー平和フェローシップに応募しました。ハイレさんはその後、同プログラムの第一期生としてプログラムを修了した元フェローです。

「実践的な方法で紛争解決に取り組むには、十分な訓練を受けた専門家が重要」と語るハイレさん。「入念に組み立てられたカリキュラムを通じて、紛争解決と国際平和の分野で専門教育を受けた人材が求められています」。

1月にサンディエゴで開催された国際協議会にて、次期ガバナーを前に講演したハイレさんは、ロータリー平和フェローシップの利点を強調し、また各地のロータリー・クラブが、プログラムを推進して、有望な候補者を推薦することが重要だと訴えました。「国が発展するには、まず平和が必要です。そのためには、紛争や対立をうまく解決するための専門的な知識や技能を備えた人材が必要です」。

ハイレさんは現在、外交分野の研究者、研修者、調停役として活躍しています。アフリカに拠点を置く、経営コンサルティング会社「Emahizee Global Consulting PLC」の創設者兼管理責任者、またアフリカ地域の紛争調停に関わる団体の会長も務めています。ロータリー平和フェローとしてカリフォルニア大学バークレー校で学んだ経験は、自身のキャリアに大きな影響を与えたと言います。「経験や知識の豊富なフェローが集まっているので、互いに刺激し合い、良い勉強になりました。またプログラムを通じて大学のコミュニティに参加し、豊富なりソースを利用して平和構築への理解を一層深めることができました」。

ロータリー平和フェローシップの情報は、ロータリーのウェブサイト(<http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx>)をご覧ください。応募に関心のある人は、地元のロータリー・クラブに申請書の提出締切日を問い合わせることをお勧めいたします。また、元フェローの経験談も参考となるでしょう。

「ロータリー平和フェローシップは、平和活動の分野でも最も優れたプログラムの一つ。世界平和のために活動したいと志す人はぜひ応募を」とハイレさんは勧めます。

例会のご案内

- 今週卓話 5月23日(木)

会員卓話：14-15年度地区幹事  
高須洋志さん

テ－マ：地区運営～組織・活動・資金～

※卓話終了後、臨時クラブフォーラム  
(ガバナー活動資金について)を開催致します。
- 次週卓話 5月30日(木)

卓話講師：第17回ザ・チャレンジドゴルフ  
トーナメント厚生労働大臣杯  
全国身体障害者ゴルフ大会  
チャンピオン  
小野功次郎さん

テ－マ：ザ・挑戦(軟骨肉腫と障害者ゴルフ)
- 次々週卓話 6月 6日(木)

会員卓話：増田盛英さん  
中田真理子さん  
(名古屋名城RAC会長)  
鏡味純弥さん  
(名古屋みなとRAC国際奉仕委員長)

テ－マ：インドNIDに参加して